

## 町中学生代表広島平和記念式典へ

8月6日に開催された広島平和記念式典へ参加するため、10名の中学生が8月5日から7日まで広島市を訪問しました。78年前の原爆の実相に触れ、被爆者体験談を聞いて、心で感じた貴重な経験を通して、平和への誓いを新たにしました。

また、8月15日の終戦の日には、活動報告会を行い、町長や教育長、保護者など、多くの方々の前で学んだことや自分の意見を発表しました。



### 菊地桃那 (那須中央中 2年)

3日間の研修や事前研修などを通して、平和への思いや戦争について深く考えることができました。戦争や原爆について知ることができて貴重な経験をするのができたと感じます。これからは自分の体験してきたことを人に伝え、世界のためにできることをどんな小さなことでもやっていけるようにしていきたいと思っています。

### 相馬あおい (那須中 2年)

実際に広島に行き、原爆によって破壊されたものや、亡くなった人の遺品などを目の当たりにして、今、私たちが当たり前のようになっている毎日が当たり前ではなく、とても幸せなのだということを感じました。また、私たちの代で核兵器のない世界を実現できる

ように、自分にできることを少しずつ頑張りたいです。

### 生田目結月 (那須中 3年)

平和記念資料館や平和式典に参加することによって、本当の平和とは何か考えました。平和記念式典では核兵器がなくなることを主張していましたが、私は核兵器が無くなれば本当に平和になるのかと疑問でした。これからは、3日間で学んだことを多くの人に伝え、身近にいる困っている人、苦しんでいる人を助けてあげたいです。

### 板垣結衣 (那須中央中 3年)

この事業に参加して考えたことは「核兵器や戦争のない未来は私たちが作っていくかなくてはいけない」ということです。戦争や原爆を経験した方が年々減ってきている今、私達若い世代が学び、理解し、伝えていかなくてはいけないと思います。研修に行き、学んだことをさまざまな場所で多くの人に伝えていきたいです。

### 菊地竜之介 (那須中央中 3年)

今回の広島派遣で、原爆や戦争、被爆の影響、被爆者が感じていることなどを学びました。資料を見たり、実際に話を聞いたりして、自分でも原爆をなくすためにできることを考えました。戦争をなく

すために周りに発信することが大切だと感じたので、これから学校やいろいろな場で発表していきたいです。

### 西村志帆 (那須中 3年)

広島派遣事業は、平和について深く考えるきっかけになりました。実際に平和記念資料館を見たり、平和記念式典に参加させていただったりして、改めて平和と命の尊さを実感することができました。これからは、尊い平和と命をつないでいくために今できることを考えて生活していきたいです。

### 伊藤蓮太郎 (那須中央中 2年)

この事業に参加して、いろいろなことを調べてきました。本やインターネットではわからないことばかりでしたが、戦争当時の悲惨さや、人が亡くなった悲しさ、戦争後の苦労などが分かり、もう二度と戦争を起こさないと各国で決め、核兵器を一刻も早くなくしたいと思えました。この経験をいろいろな人に発信したいです。

### 瀬川景都 (那須中央中 2年)

私はこの広島派遣事業を通して、原爆投下直後の暮らしの様子や、今の広島の状態について学びました。また、原爆は人の暮らしを崩壊させると知り、広島にとっての平和

とは、世界中から核兵器がなくなることなのではないかと考えました。私は今回の派遣で見聞きしてきたことを後世に伝えていきたいです。

### 川崎美白 (那須中 2年)

研修を通して、普段の生活では味わうことのできない貴重な体験をさせていただきました。また、報告会では、原爆や戦争の恐ろしさや、自分が今回の研修で考えたことを那須町の方にプレゼンできたいと思います。これからは原爆の記憶を風化させないように、今回の研修から学んだことを、私が未来の平和へつないでいきたいです。

### 高根澤葵 (那須中央中 2年)

平和記念資料館で見た原爆の悲惨さが目に焼き付いています。今回の広島派遣を通して「平和への誓い」に込められた思いを知り、改めて平和の大切さについて考えました。広島には、平和への願いが込められた千羽鶴を再生紙として活用する事業があることを知りました。私も平和に貢献できる活動をしていきたいと思っています。

### ▼問合せ 学校教育課

☎ 72・6922

タウンピックアップ

子育て・ほげんだより

生涯学習だより

図書館だより

Town information

カメラスケッチ

那須高校タイム

みんなの広場

無料相談会・消費の豆知識

カレンダー